



※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。



アザミウマ類の多発に注意しましょう!

アザミウマ類



大きさは約1~2mm。細長く、小さいため見つけにくい。スリップスとも呼ばれる。新芽、新葉、花などを吸汁し、**葉の萎縮や奇形、花の褐変**を生じる。多発すると、心止まりとなることがあるが、被害の出方は品種間差が激しい。吸汁痕はカスリ状になり、銀色に見えることから、**シルバリング**と呼ばれる。
えそ病(TSWV)や茎えそ病(CSNV)のウイルスを媒介する。ウイルスによっては親株から挿し穂への感染や、作業での伝染もするため注意が必要。



時期	IRAC FRAC	対象病害虫	薬剤名	予防	治療	使用量・希釈倍数	使用時期	回数
定植時	P2	白さび病	inochioキクツチャ粒剤	○	—	6~9kg/10a (作条土壌混和)	定植時	1回
生育初期	M03	白さび病	ジマンダイセンフロアブル	○	—	500~800倍	—	8回
	1B	アブラムシ類・アザミウマ類 フタバシジミ類・ハダニ類	トクチオン乳剤	—	—	1,000倍	発生初期	5回
消灯時	21A, 39	アブラムシ類・アザミウマ類 ハダニ類・白さび病	ハチハチ乳剤	○	—	1,000倍	発生・発病 初期	4回
	23	アザミウマ類・アブラムシ類 ハダニ類	inochio セイレーンフロアブル	—	—	2,000倍	発生初期	3回
発蕾時	19	白さび病	ポリオキシシンAL水溶剤	○	○	2,500倍	発病初期	8回
	6	アザミウマ類・ハダニ類	アグリメック※	—	—	500倍	発生初期	5回
破蕾期	3	うどんこ病・白さび病	アンビルフロアブル	○	○	1,000倍	発病初期	7回
	25A	ハダニ類	スターマイトフロアブル	—	—	2,000倍	発生初期	1回

⚠ 地域の防除事例を基に作成しています(輪菊栽培)。品種、栽培条件によっては被害が発生する場合がありますためご注意ください。さらに、展着剤・葉面散布剤等を加用する場合もご注意ください。

※花き類・観葉植物(ガーベラを除く)登録

海藻サンバ

イノチオの新しいバイオステミラント!
育苗期の発根促進剤

- ▶ コリンによる**光合成促進**と**発根促進**
- ▶ 海藻エキスによる**発根促進**
- ▶ 転流を促進

育苗期・生育期：1,000倍



肥料登録番号
生第101491号

フルボディ

腐植酸(フルボ酸・フミン酸)→土壌の団粒化
海藻抽出成分配合→根の伸長促進



定植ストレスを軽減・活着促進!

葉菜類使用例 500ml/セルトレイ 灌注 定植前

